

## 大東文化大学経済学会(2009年度) 第14回学生懸賞論文募集要項

大東文化大学経済学会では、毎年、本学部所属の学生を対象として懸賞論文を募集しています。入賞者には表彰状および賞金が与えられますが、本年度は、「この不況からいかに脱出するか」、「規制緩和は失敗だったか」、「日本の歴史的経験は現代の経済問題解決に役立つか」、「自由テーマ」の4つのテーマを設けて募集を行います。どのテーマについても、自分自身で考えることが必要です。この懸賞論文の機会を通じて、みなさんの知的探求心をいかに発揮し、日頃の勉学の成果を形にしてみましょう。

### 募集論文テーマ

次の4つのテーマから1つを選択し、テーマに関する説明をよく読んで論述してください。

#### 1. この不況からいかに脱出するか

現在の不況下における景気刺激政策について、どのような政策を実施することで有効性を発揮できるか、立脚する論点を明確にした上で自分の考えを述べて下さい。

たとえば環境にも配慮すべきとの観点に立脚するならば、グリーン・ニューディール政策の実施を具体例を考えて論じるというようにして下さい。

#### 2. 規制緩和は失敗だったか

近年、格差問題の深刻化や製品・サービスの安全性低下、公共価値の破壊などに関し、その原因を規制緩和政策に帰する論調があります。果たして、規制緩和は本当に失敗だったのでしょうか。この点について、具体的な分野や事例\*を取り上げて分析し、それに基づいて規制緩和の是非について詳しく論じて下さい。

\*参考例

雇用・労働の規制緩和、タクシー事業の規制緩和、医薬品カテゴリー見直し、教育制度の弾力化、認可保育園の規制緩和、通関手続きの簡素化、電気通信市場の規制緩和、など。この他にも多数の分野、事例が考えられますので、各自で検討して下さい。

#### 3. 日本の歴史的経験は現代の経済問題解決に役立つか

日本は、非西欧諸国で最初に工業化に成功し、戦後は奇跡の高度成長を実現しました。また1980年代後半には、世界中が日本の「成功の秘訣」を探るということもありました。近年では1930年代の「大恐慌」（日本では「昭和恐慌」と呼ばれています）からの脱却に成功した「高橋財政」への再評価も高まっており、これもまた「歴史から学ぶ」一例でしょう。本テーマでは日本の歴史的経験を踏まえ、現代の経済問題解決に役立つ提言を行ってください。

#### 4. 自由テーマ

以上3テーマのほかに「自由テーマ」枠を設けました。もちろん、自由とは言っても経済学会の懸賞論文ですから「経済学的な思考」に基づいたものでなければなりません。しかし、その範囲内であれば完全に自由です。各自関心のあるテーマを自由に設定して論述してください。

### 応募規定

- ・ 応募資格者は、大東文化大学経済学部 に在学するすべての学生です。
- ・ 応募論文は本人のもので、未発表かつ日本語で書いたものに限りません。
- ・ A4判の用紙を使用してください。また論文は、ワープロソフトで入力の場合、8,000字以上12,000字以内に収めてください。（おおむね、A4判40字×36行で6ページから8ページ強

の長さになります。)

・論文の体裁

- ① 表紙/「懸賞論文応募用紙」に必要事項を記入してください。
  - ② 論文要旨(ワープロソフトでA4判1,200字程度にまとめたもの)を付けてください。論文要旨と本文とは別綴じとし、それぞれ学籍番号・氏名を記入してください。
  - ③ 本文の冒頭に目次を付けてください。
  - ④ 本文には、必ずページを打ってください。
  - ⑤ データ・図表は本文中に入れてください。ただし、字数には換算しません。
  - ⑥ 書籍や新聞等の文献から引用及び発想を転用した場合は、(注)として出典(使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など)を明記してください。また、ホームページ上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記しプリントアウトした資料を添付してください。
- ・本文は電子媒体の形で保存しておいてください(入選した場合、必要になることがあります)。

### 応募期間・発表

- ・応募期間及び締め切り 2009年12月7日(月)午前9時~2009年12月14日(月)午後4時
- ・入選者の発表 2010年1月25日(月)予定

### 審査

- ・本学経済学部教員が審査します。
- ・表彰・賞金は以下のとおりです。
  - 経済学会賞 (1件以内) 副賞(賞金10万円)
  - 優 秀 賞 (2件以内) 副賞(賞金 5万円)
  - 佳 作 (4件以内) 副賞(賞金 3万円)
  - 一年生奨励賞 (2件以内) 副賞(賞金 3万円)
  - 参加賞(入賞者を除き応募規定を満たす論文を提出した者全員)

### 応募先・問合せ先

〒175-8571 板橋区高島平1-9-1  
大東文化大学経済学会事務局 現代経済学科事務室  
開室時間:月曜日~金曜日(板橋校舎・2号館5階)  
午前9時~午後4時  
TEL 03-5399-7307 FAX 03-5399-7163 e-mail ohira@ic.daito.ac.jp

### その他

- ・応募作品は返却しません。
- ・入賞者の所属・氏名を公表します。
- ・応募にかかわる個人情報は本コンテスト以外の目的では使いません。
- ・入賞作品は『経済学会懸賞論文集』として印刷配布する場合があります。